

かんちゃん通信

令和元年6月4日(火)発行 文責：林 寛

～実習終了～

5月14日(火)から始まった教育実習が29日(水)に終了しました。約2週間の実習でしたが、最初は不安でいっぱいだった22名の教育学部3年生は、本当に熱心に取り組みました。

担任の先生から指導を受けながら、保育をする主体者として保育の計画案を考え、子どもたちが興味をもちそうな教材を用意し(ほとんどが手作りのものです)、実践に臨みました。計画案作りや教材の準備には、多くの時間をかけていました。まさに、寝る時間を削って取り組んでいました。

実際に保育をやってみると、自分の考えていた通りの子どもたちの動きになったり、まったく予定していなかった動きになったりします。その日の反省会では、何がよくて何が悪かったのか、また、今日の子どもたちの様子からわかることは何か等を、実習生同士で意見交換をしたり、担任から指導を受けたりして協議を深めていきます。

そして何より、本園の子どもたちは実習生にたくさん関わってもらい、多くの愛情を感じることができました。子どもたちにとっても貴重な2週間だったと言えます。

実は、私たち現役の教師も、実習生たちと関わっていると、初心を思い出します。初心に帰るいい機会になっているのです。

実習生たちは大学に戻りましたが、まだまだ勉強は続きます。頑張ってもらいましょう。

